

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 現代の国語 (数研出版)		
副教材等	高等学校現代の国語準拠ノート (数研出版)				

学習の目標	1 知識・技能：実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 思考力・判断力・表現力：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。 3 学びに向かう力、人間性：言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむ態度を養います。
学習の方法	・知識・技能：予習では、音研や意味調べをするようにしましょう。漢字や慣用表現の知識を増やしていきましょう。 ・思考力・判断力・表現力：情報を関連付けて読む習慣を付けましょう。また、教科書教材の百字要約をしましょう。 ・学びに向かう力、人間性：伝え合う内容を検討したり、話し合いの仕方を工夫しましょう。読書に親しむとともに、文章表現の活動をしていきましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	論理的ということ 水の東西	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を正しく理解し、その内容について論理的に言葉に関係づけて言い換えます。</li> <li>「水」に対する思想を的確に理解したうえで、「水」以外の事例における日本と西洋の違いについて適切にまとめます。</li> <li>課題プリント、ノート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	「攻撃」と「共存」 「わらしべ長者」の経済学	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張に基づいて、社会全体の問題を自分自身の問題へと引きつけて考えます。</li> <li>「わらしべ長者」の男の経済活動に対する筆者の評価を踏まえた上で、自分の考えを論拠とともに明示できるようにします。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
1 学期 末	ポスト・プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の論を適切にまとめ、それを踏まえたうえで、インターネットなどの「情報システム」の発展・普及による社会全体のありかたの変容について説明できるようにします。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	コインは円形か	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が述べるレトリックの意義を理解します。筆者の主張をとらえたうえで、他者と話し合っって考えを積極的に深めていきます。</li> <li>課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
2 学期 中間	ものごとば	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる言語に見られる「認識される対象」の違いについて考察していきます。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	人と自然の共生とはどういうことか	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が論じる「人と自然の文化的共生」の意味を的確に理解したうえで、適切な実例をあげ、調べた情報についてまとめます。</li> <li>課題プリント、ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	○	○	◎
2 学期 末	政治的思考 絵を前に思いをめぐらす	<ul style="list-style-type: none"> <li>「民主政治」「独裁体制」の特徴について、違いや関係性も踏まえて理解します。</li> <li>新聞記事と《絵を前に思いをめぐらす》のそれぞれの筆者の表現について、理解します。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	科学コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>「遠因」という言葉を用いた意図を把握します。文系と理系を分ける要因に関する筆者の考えを吟味したうえで、具体的な事例と関連付けて自分の考えを述べます。</li> <li>課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
3 学期	命は誰のものなのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学の発達と死の問題の複雑化との関連を理解し、「命はその人個人のものであるか」という問題提起に対する自分の考えを理由や具体例を交えながら論理的にまとめます。</li> <li>課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	他者を理解するということ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「他者との相互理解」について理解を深めます。</li> <li>提示された事例の内容や、相手の意見の意図などを確認しながら話し合います。</li> <li>課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査</li> </ul>	○	○	◎
	時間と自由の関係について 時を編む人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の時間論を踏まえたうえで、「時間」について論じられた異なる文章を読んで内容を理解し、「時間」に対する自分の考えを適切にまとめます。</li> <li>時間に関する書籍を参考に、人間の生活と時間との関係について、自分の考えを深めます。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、レポート、定期考査</li> </ul>	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	ノート、課題プリント、小テスト、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、プレゼンテーション、レポート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	3	教科書	言語文化（数研出版）		
副教材等	言語文化準拠ワーク（数研出版）				

学習の目標	1 知識及び技能：社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。 2 思考力・判断力・表現力：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高めま す。 3 学びに向かう力、人間性：言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関 わるようとする態度を養います。
学習の方法	・知識・技能：古典を読むために必要な文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて学習します。辞書や文法書を活用します。 ・思考・判断・表現：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えていきます。 ・主体的に学習に取り組む態度：積極的に場面の様子や心情を捉えたり、作者が伝えようとしている内容を分析したりする過程において、学習課題に沿 って調べ学習に取り組んだり、話し合いに参加したりして、自分の考えを説明できるようにしていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	古文 説話 宇治拾遺物語 漢文 入門 入門一・二	・歴史的仮名遣いについて理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習していきます。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	○	◎	○
	近現代 近代小説（一） 羅生門	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に 的確に捉えるようにします。積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考 えを文章にしていきます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査	○	○	◎
1 学期 末	古文 随筆（一）徒然草 漢文 故事・史伝	・勅諭詞や保り結びについて理解し、辞書などを引きながら学習します。 ・故事成語の多くが漢文に由来することについて、例を挙げて説明できるようにします。 ・春秋・戦国時代の歴史的知識を踏まえて、管仲と鮑叔の芥園における立場、郭隗が賢者を 招こうとした経緯、蘇秦の外交政策の特徴などを説明できるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○
	現代小説 サラバ!	作品の内容を正確に解釈したうえで、「人と人との交流において大切 なこと」について、合理的な答えを導き出していきます。周囲と協調 しながら根拠立てて話し合い活動に取り組みます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、レポート、定期考査	○	○	◎
2 学期 中間	古文 歌物語 伊勢物語 漢文 漢詩	・辞書や文法テキストを調べながら正確に現代語訳します。和歌の修辞を解釈し、和歌に込 められた心情を地の文と関連させて理解します。 ・「静夜思」「月夜」「八月十五日」に共通するモチーフについて、理解します。・課題プ リント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○
	近現代 詩歌 近代小説（二） 城崎にて	・「短歌」に対する文化的背景についての理解を深め、そこで用いられ る語句が持つ語感を磨き、語彙を豊かにしていきます。 ・作品の内容を理解し、「生と死」に対する思いを自身の体験を踏まえて文章にしてい きます。 ・課題プリント、ノート、レポート、定期考査	○	○	◎
2 学期 末	古文 随筆（二）枕草子 漢文 思想	・本文を正確に通訳し、句読点の配置によって文意が変わることを理解 します。異なる解釈の可能性について説明できるようにします。 ・複数の解釈を比較検討した上で、教材本文の解釈を自分なりに構築で きるようにします。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○
	近現代 戦争小説 沖縄の手記から	戦後の社会状況や文化的背景についての理解を深め、その時代に特有の語句が持つ語感を磨 き、語彙を豊かにしていきます。さまざまな戦争文学を調べ、その内容を深く理解すること で、我が国の言語文化について自分の考えを深めます。 ・課題プリント、ノート、レポート、定期考査	○	○	◎
3 学期	古文 和歌・土佐日記	・和歌の解釈を通して、当時の美意識について考えを深めます。 ・女性仮託の効果について、漢文日記と関連づけながらその意義をに ついて考察します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○
	漢文 文章	「雑説」「熊説」が書かれた動機について、歴史的背景を踏まえた上 で自分なりに考えをまとめます。唐代中国の官吏登用制や兵制を調べ る活動に取り組みます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査	◎	○	○
	近現代 近代小説（三） 山月記	人間が虎になるという設定がもたらす効果について、理解を深めま す。哀愴の人物像を正確に把握し、作品に哀愴が登場することによる 効果を理解して、話し合い活動に取り組みます。 ・課題プリント、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	○	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	ノート、課題プリント、小テスト、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、プレゼンテーション、レポート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	公共	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 公共 (第一学習社)		
副教材等	最新公共資料集2022 (第一学習社)				

学習の目標	人間と社会の在り方についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な公民としての資質・能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。</li> <li>・日常的に日本や世界の出来事に関心を持ち、議論を交わす場面では積極的に意見を述べましょう。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1編 第1章 公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間と人間の関わり、人間と社会の多様性と共通性などに注目し、社会に参画する自立した主体とは何か考えます。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
	第2章 公共的な空間における人間としての在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などについて理解し、現代の諸課題について関心を高めます。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
1 学期 末	第3章 公共的な空間における基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における基本的原理について、思考実験などを通して、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察します。</li> <li>・ノート、定期考査、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価</li> </ul>	○	◎	○
	第2編 第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義及び役割について考え、それにより個人の自由や権利が保障され、社会の秩序が形成されることを理解します。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
2 学期 中間	第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した消費者としての在り方を考えるとともに、司法への参加意義を理解し、公正・公平な判断力を身に付けます。</li> <li>・ノート、定期考査、ポートフォリオ評価</li> </ul>	○	◎	○
	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治の在り方と国民生活の関わりについて考え、個人が政治へ参加することによってより良い社会が築かれることを理解します。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
2 学期 末	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の課題や問題を基に、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考えます。</li> <li>・ノート、定期考査、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	○	◎
	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に伴う雇用や労働環境の変化を理解し、望ましい職業観を形成します。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
3 学期	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上のための政府の役割について理解し、現実社会の課題について考えます。</li> <li>・ノート、定期考査、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	○	◎
	第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。</li> <li>・ノート、レポート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の精神を持つ自立した主体として、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた自身の役割について考えます。</li> <li>・ノート、定期考査、ポートフォリオ評価</li> </ul>	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、パフォーマンス評価、課題
② 思考・判断・表現	行動の観察、レポート、ポートフォリオ評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	出席状況、行動の観察、パフォーマンス評価、課題

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	数 学	科目	数学 I	学年 学科 類型	1年 商業科 II 型
単位数	3	教科書	新編数学 I (啓林館)		
副教材等	新課程 教科書傍用 REPEAT 数学 I + A (数研出版)、新課程 チャート式 解法と演習 数学 I + A (数研出版)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と並行して、問題集「REPEAT」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。</li> <li>・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1章 数と式 第1節 整式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の展開と因数分解について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第2節 実数 第3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数を実数まで拡張する意義を確認し、数の体系について理解を深めます。また、身近な事象を1次不等式の問題に帰着させ、それを解く方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第2章 集合と命題 第1節 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合の考え方をを用いて必要条件、十分条件、対偶などを学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
1 学期 末	第3章 2次関数 第1節 関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数のグラフの特徴について理解を深めます。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第2節 2次関数の最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを用いて、2次関数の最大値や最小値を求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
2 学期 中間	第3節 2次関数と方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを用いて、2次方程式・不等式の解を求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
	第4章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角比の意味と相互関係について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第2節 鈍角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角度を鈍角まで拡張し、鋭角との違いや相互関係について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
3 学期	第3節 図形の計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさを求める方法を学習します。また、直接測りにくいものの長さや角の大きさを求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを整理・分析し、事象の傾向を把握する方法について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	第2節 データの相関 第3節 統計的な見方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のデータの関係について考察し、それを説明する方法について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	小テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	課題プリント、定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、ノート、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 科学と人間生活 (啓林館)		
副教材等					

学習の目標	1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付け、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養います。 2 自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めます。
学習の方法	・授業では、解説をよく聞き、板書等重要なことはノートに整理して記録してください。 ・観察・実験を行う場合は、「何故そうなるのか」を考えながら取り組むことが大切です。 ・課題プリントを用いて復習を行います。期限内に解いて忘れずに提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象 A タンパク質と遺伝子 B ヒトの視覚と光	・タンパク質と遺伝子、ヒトの視覚と光について学び、ヒトの生命現象について理解します。 ・定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察（パフォーマンス評価）、実験レポート	◎	○	○
	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象 C 血糖濃度の調節 D 免疫	・血糖濃度の調節、免疫について学び、ヒトの生命現象について理解します。 ・定期考査、授業ノート、行動の観察	○	◎	○
1 学期 末	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品 A 衣料の科学	・衣料、染料、洗剤について学び、その性質や利用のしかたについて化学の観点から理解します。 ・定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察（パフォーマンス評価）、実験レポート	◎	○	○
	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品 B 食品の科学	・食品の主成分について学び、その性質や利用のしかたについて化学の観点から理解します。 ・定期考査、授業ノート、行動の観察、観察・実験の観察（パフォーマンス評価）、実験レポート	◎	○	○
2 学期 中間	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 A 光の進み方 B 光の波としての性質	・光の性質とその利用法を理解します。 ・定期考査、授業ノート、発表、行動の観察、観察・実験の観察（パフォーマンス評価）、実験レポート	◎	○	○
	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 C 電磁波とその利用	・光を中心とした電磁波とその利用について理解します。 ・定期考査、授業ノート、発表（パフォーマンス評価）、行動の観察	○	◎	○
3 学期	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 A 身近な天体～太陽と月～ B 潮の満ち引き C 太陽放射と地球 D 大気の運動	・太陽や月の構造や見え方や、これらの身近な天体が引き起こす潮汐や大気の運動について学び、太陽や月が地球の大気や海洋、人間生活におよぼす影響を理解します。 ・定期考査、授業ノート、発表（パフォーマンス評価）、行動の観察	○	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、観察・実験（パフォーマンス評価）
② 思考・判断・表現	定期考査、実験ノート、発表（パフォーマンス評価）
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業ノート、行動の観察

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育（大修館）		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けます。 2 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体としてとらえ生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育みます。 ・体育理論では、スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・行動の観察	○	○	◎
	1 学期 末	選択(ダンス・陸上競技)  ・陸上競技では、記録の向上や競走の楽しさや喜びを味わい、技能を高めます。主に障害走と跳躍を行います。 ・記録計測、パフォーマンス評価  ・ダンスでは感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しみや喜びを味わい、表現や踊りの技術を高めて交流や発表ができるようにします。 ・パフォーマンス評価	◎	○	○
2 学期 中間	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎
	2 学期 末	選択2(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道) 選択3(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道) 体育理論	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技  ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解します。 ・小テスト、行動の観察	◎	○
3 学期	陸上競技(長距離走)	・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標とします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測	◎	○	○
	3 学期 末	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)  ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○
	体育理論	・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解します。ドーピングはフェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせていることを理解します。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測
② 思考・判断・表現	行動の観察、各先生の評価プリント、小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、各先生の評価プリント

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育（大修館）		
副教材等					

学習の目標	1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	1 健康の考え方と成り立ち	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察（以下同様）	◎	○	○
	2 私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	○	◎	○
	3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	○	◎	○
	4 がんの原因と予防	・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。	◎	○	○
	5 がんの治療と回復	・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。	○	◎	○
1 学期 末	6 運動と健康	・健康から見た運動の意義について学び、健康づくりのための運動習慣を身に付け、生涯にわたって運動が行えるように学習します。	○	○	◎
	7 食事と健康	・健康的な食生活の重要性と意義について学び、生涯にわたって健康的な食生活習慣を身に付けることができるように学習します。	◎	○	○
	8 休養・睡眠と健康	・健康から見た休養・睡眠の意義を学び、よりよい休養・睡眠のとり方を生涯にわたって実践できる能力を養います。	◎	○	○
	9 喫煙と健康	・喫煙の科学的な知識とたばこのない社会の実現には、個人および社会全体で取り組むことが重要であることを学習します。	○	◎	○
2 学期 中間	10 飲酒と健康	・飲酒による短期的影響、長期的影響について理解します。また飲酒の社会的問題について自分たちと関連づけて考えることができるように学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察（以下同様）	○	◎	○
	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の心身への健康影響を学習します。また薬物乱用は、個人として絶対におこなってはならないと自覚できるように学習します。	◎	○	○
	12 精神疾患の特徴	・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	○	◎	○
	13 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。	○	○	◎
2 学期 末	14 精神疾患からの回復	・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。	◎	○	○
	15 現代の感染症	・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。	○	◎	○
	16 感染症の予防	・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。	○	○	◎
3 学期	17 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。	◎	○	○
	1 事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察（以下同様）	◎	○	○
	2 安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。	◎	○	○
	3 交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	◎	○	○
	4 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義について説明できる。 ・傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。	○	○	◎
	5 日常的な応急手当	・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。	◎	○	○
6 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 ・実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。	○	◎	○	

（備考） 1,2学期の定期考査は、期末のみ行う。3学期は、学年末考査のみとする。

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、ノート、課題プリント、パフォーマンステスト
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査、パフォーマンステスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、課題プリント

（備考） 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年 学科 類型	1年 商業科Ⅱ型
単位数	2	教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを感じ取り、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現します。 3 多様な音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に鑑賞します。
学習の方法	・外国語歌曲の歌唱等、中学校までの音楽の授業より難易度の高い内容です。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・楽典と鑑賞の授業では、音楽の基礎的な知識を理解し、丁寧に楽譜を記入したり、音楽を深く味わって聴いたりしてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	歌唱 校歌、イタリア・ドイツ 歌曲、ポピュラー・ソング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・外国語歌曲の発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	○	◎
	器楽 クラシック・ギター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴を理解し、基本的な奏法を習得します。</li> <li>・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○
	鑑賞 バロック時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>	○	○	◎
	楽典 楽譜の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜と音符の書き方について学習します。</li> <li>・ワークシート、小テスト</li> </ul>	◎	○	○
2 学期	歌唱 日本歌曲、ポピュラー・ソ ング、ミュージカル音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	○	◎
	器楽 クラシック・ギター弾き語り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の奏法を理解し、弾き語りをします。</li> <li>・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト、パフォーマンステスト</li> </ul>	○	◎	○
	鑑賞 古典派、ロマン派	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>	○	○	◎
	楽典 楽譜の読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の読み方や音楽用語について学習します。</li> <li>・ワークシート、小テスト</li> </ul>	◎	○	○
3 学期	歌唱 合唱、卒業の歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>・合唱の響きを味わいながら、表現を工夫して歌います。</li> <li>・練習への取り組み方</li> </ul>	○	○	◎
	器楽 ヴァイオリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴァイオリンに触れ、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。</li> <li>・ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。</li> <li>・練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○
	鑑賞 日本の音楽、印象派、現代音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。</li> </ul>	○	○	◎

(備考) ギターとヴァイオリンについては、選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	実技テスト、小テスト
② 思考・判断・表現	練習への取り組み方、実技テスト、小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業態度、出席状況、練習への取り組み方、ワークシート



## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	美術 1 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 様々な表現活動を通して、自らの考えや気持ちを表現する楽しさを味わうとともに、基礎的な知識や技術を身に付けます。 2 様々な作品を見たり批評し合ったりすることで、幅広い見方のできる鑑賞能力を伸ばします。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で基礎となる大切な内容が入ってきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	1 身近なものを描く	・手のデッサンを通して、観察力、描写力、線の重ねかた、明暗の諧調など、基礎的な描法を学びます。 ・授業への取り組み、実技、作品	○	○	◎
	2 マークやサインで伝える	・単純な色と形を用いて、部活動のマークを作成します。 ・色彩の基礎を学び、効果的な配色やアクリル絵の具の特性を学びます。 ・授業への取り組み、実技、作品	○	◎	○
	3 想像してあらわす	・連想した言葉を組み合わせ、ありえないものや状況を想像し、表現します。 ・より面白い配置を考えることで、構成力を身に付けます。 ・授業への取り組み、作品、実技、課題プリント	○	○	◎
	4 メッセージを広く伝える	・伝えたい内容を伝えやすくする色や構図、コピーを考え、ポスターを制作します。 ・授業への取り組み、実技、作品、課題プリント、小テスト	◎	○	○
2 学期	5 版画の技法	・アートガラスの制作と鑑賞を通して、ニードルによる堀の表現と絵の具による色彩表現の面白さを味わいます。 ・色の三原色について学習し、色彩について科学的に理解を深めます。	○	◎	○
	6 自己をあらわす	・自画像の鑑賞を通して、何が描かれているのか、なぜ自画像を描いたのかを考え、自身の作品に反映させます。 ・自画像制作を通して観察力を養うとともに、下塗り、上塗り、混色など、絵画の基本的な描法を学びます。 ・他の生徒の作品を鑑賞することで、表現の違いや発想の面白さ、自己理解、他者理解を深めます。 ・授業への取り組み、発表、作品、実技、レポート	◎	○	○
	7 映像メディア	・映像メディア表現分野の芸術作品を鑑賞することで、新しい芸術表現の世界を味わいます。 ・絵画や彫刻とは違う表現の在り方について理解を深めます。 ・授業への取り組み、発表、レポート、小テスト	○	○	◎
3 学期	8 生命感をあらわす	・首降り人形の制作を通して、協調や省略をして表現する面白さを学びます。 ・立体作品を制作することで、平面作品とは違う制作方法、鑑賞方法についての理解を深めます。 ・授業への取り組み、作品、実技、レポート、小テスト	○	◎	○
	9 美術の流れ	・日本美術や西洋美術の歴史について学ぶとともに、アジアや他の国々の多様な芸術について理解を深め、美術作品の良さや面白さについて学びます。 ・授業への取り組み、発表、レポート	○	○	◎

(備考) 美術室の道具類は、美術選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に心掛けてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	実技、作品、小テスト
② 思考・判断・表現	実技、作品、課題プリント、レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、作品等提出、発表

## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	学年 学科 類型	1年 商業科Ⅱ型
単位数	2	教科書	書道Ⅰ（東京書籍）		
副教材等					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・毛筆が中心になりますが、硬筆や篆刻なども学びます。 ・古典の臨書を通して、いろいろな書体への理解を深めます。 ・臨書で身に付けた技術を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期	1 楷書	・書道用具や書道史の基本的なことを学習して、書道学習への心構えを身に付けます。 ・用筆法や字形の組み方を学習し、作品によって異なる書き方を学びます。 ・臨書への取組、作品	◎	○	○
	2 行書	・行書体の字の崩し方の原理を学び、流動する用筆美を味わいます。 ・時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。 ・臨書への取組、作品、感想文、小テスト	○	○	◎
2 学期	2 行書	・日本で発展した書の芸術美を味わいます。 ・臨書への取組、作品	◎	○	○
	3 隷書	・古典の用筆法を学び、簡略美を味わいます。 ・臨書への取組、作品	○	○	◎
	4 篆刻	・篆刻の方法を学び、それぞれの姓名を印材に刻します。 ・取組、作品	○	○	◎
	5 創作（漢字）	・古典の臨書で学んだ字形や用筆法を生かして、漢字の書の創作をします。 ・応用力、作品、感想文、小テスト	○	◎	○
3 学期	6 仮名	・仮名の基本用筆を学び、平仮名の書き方などを学びます。 ・平安期の和歌を学習し、いろいろな散らし書きを学びます。 ・臨書への取組、作品、小テスト	○	○	◎
	7 創作（漢字仮名交じり）	・学習内容を生かして、漢字仮名交じりの書を創作します。 ・応用力、作品、感想文	○	◎	○

（備考）書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	臨書への取組、作品、小テスト
② 思考・判断・表現	応用力、感想文、作品
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習活動の観察

## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	5	教科書	BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 New Vision Quest English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1400				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 英語の内容を理解し、自分の感想や考えを英文で表現できる表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。全商英語検定2級以上を目標とします。
学習の方法	・授業は予習を前提に行います。予習に取り組んだ上で、授業中の言語活動に参加しましょう。自分の力で予習を行う習慣を身につけましょう。 ・分からないことがあれば辞書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	Lesson 1 Friendships in the Digital Age	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル時代における友達づくり方について考えます。</li> <li>文型について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
	Lesson 2 Expos: Past, Present, and Future	<ul style="list-style-type: none"> <li>万博における日本の関わりと未来の万博の役割について考えます。</li> <li>時制について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
1 学期 末	Lesson 3 The Fascinating World of a Professional Storyteller	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統語彙の世界について考えます。</li> <li>助動詞や受動態について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
	Lesson 4 Chaging Behavior in Unique Ways	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の行動をよい方向に変えるための仕掛けについて考えます。</li> <li>使役動詞を用いた構文について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
2 学期 中間	Lesson 5 A Journey to Peace	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルワンダ大虐殺を生き延びた1人の女性の物語について考えます。</li> <li>知覚動詞を用いた構文や分詞の用法について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	◎	○	○
	Lesson 6 Humans Evolve with Measurements	<ul style="list-style-type: none"> <li>「測る」という行為を通して人類の進化の歴史を考えます。</li> <li>関係代名詞について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets	<ul style="list-style-type: none"> <li>野生動物の秘密に迫る「バイオロギング」について考えます。</li> <li>関係副詞について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
	Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	<ul style="list-style-type: none"> <li>「オーバーツーリズム」とは何か、またその解決策を考えます。</li> <li>仮定法について理解します。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	○	◎
3 学期	Lesson 9 Surviving in the Information Age	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉石混交の膨大な情報から真実にたどり着くために何をすべきか考えます。</li> <li>これまで学んだ文法事項の復習と確認をします。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	◎	○
	Lesson 10 The Spirit of Zen: Less is More	<ul style="list-style-type: none"> <li>「禅」の精神とは何か、そして現代の世界に与えた影響について考えます。</li> <li>これまで学んだ文法事項の復習と確認をします。</li> </ul> ・言語活動への参加状況、定期考査、パフォーマンステスト、小テスト、レポート課題	○	◎	○

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト
② 思考・判断・表現	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題
③ 主体的に学習に取り組む態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商 業	科目	ビジネス基礎	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	2	教科書	ビジネス基礎（東京法令出版）		
副教材等	全商商業経済検定問題集3級（実教出版） 全商ビジネス計算実務検定模擬問題集1級（実教出版）				

学習の目標	1 ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付け、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展のため、組織の一員としての役割を果たすことができるようにします。 2 ビジネスに関する課題を発見するとともに、そのよりよい解決に向けて積極的に関わり、責任を持って取り組む態度を養います。
学習の方法	・この科目は商業の原則必修科目として位置づけられており、基礎的・基本的な内容を学習します。より専門的な学習にチャレンジするためにも、基礎・基本の徹底を心掛けて取り組んでください。 ・全商商業経済検定3級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解力を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第1章 商業の学習とビジネス	・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスに関する知識を基盤として、商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について自らの考えを持ち、組織の一員としての役割を果たせるような学習をします。 ・課題プリント、ノート	◎	○	○
	第2章 ビジネスに対する心構え	・信頼関係の構築、コミュニケーションの基礎、情報の入手と活用する方法を取り扱いながら、ビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	○	◎	○
1 学期 末	第6章 取引とビジネス計算	・売買取引、代金決済など取引とビジネス計算を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
	第3章 経済と流通	・経済の基本概念などを取り扱い、経済に関する基礎的な知識について学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	○
2 学期 中間	第3章 経済と流通	・流通の役割などを取り扱い、流通に関する基礎的な知識について学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○
	第6章 取引とビジネス計算	・売買取引、代金決済など取引とビジネス計算を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
2 学期 末	第4章 企業活動	・企業の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなどを取り扱い、企業活動に関する基礎的な知識を学習します。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	○
3 学期	第5章 身近な地域のビジネス	・ビジネスに関する国内の身近な地域の抱える課題や動向について取り扱い、地域の特色を活かしたビジネスの振興策を考案し、発表を行います。 ・課題プリント、パフォーマンス評価	○	○	◎
	第6章 取引とビジネス計算	・売買取引、代金決済など取引とビジネス計算を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
	問題演習	・前章で学んだ、仕入れ原価や売価の計算などのビジネス計算、代金決済の手段を取り扱い、売買取引を行うための基礎的な知識と技術について反復学習します。 ・課題プリント、小テスト、ノート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	定期考査、小テスト、課題プリント、ノート
② 思考・判断・表現	定期考査、小テスト、ノート、課題プリント、ポートフォリオ評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	出席状況、行動の観察、パフォーマンス評価、課題プリント

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	簿記	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	4	教科書	簿記（東京法令出版）		
副教材等	完全段階式 標準検定簿記問題集 3級、2級（東京法令出版）				

学習の目標	1 企業において日常的に発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解します。 2 帳表作成や簿記の基本からビジネス活動を計数的にとらえ、経営判断の視点を養います。
学習の方法	・この科目は商業の原則履修科目として位置づけられており、基礎的・基本的な内容を学習します。より専門的な学習にチャレンジするためにも、基礎・基本の徹底を心掛けて取り組んでください。 ・全商簿記検定2級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	第Ⅰ編 簿記の基本	・簿記に関する基本的な知識や、一連の簿記記入の体系を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
	第Ⅱ編 各種取引の処理	・企業の経営活動によって発生するさまざまな取引について、基本的な記帳方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
1 学期 末	第Ⅲ編 決算（1）	・会計期間中に記入された仕訳帳と総勘定元帳から、財務諸表を作成する一連の手続きについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
	第Ⅳ編 会計帳簿（1）	・会計帳簿の種類と役割、企業の分課制度と帳簿全体のしくみについて学習します。また、3伝票の作成方法も習得します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンス評価	◎	○	○
2 学期 中間	第Ⅴ編 特殊な取引	・特殊な商品売買と特殊な手形取引について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○
	第Ⅵ編 決算（2）	・間接法による減価償却の記帳や有価証券の評価など、より進んだ決算整理について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンス評価	◎	○	○
2 学期 末	第Ⅵ編 決算（2）	・間接法による減価償却の記帳や有価証券の評価など、より進んだ決算整理について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンス評価	◎	○	○
	第Ⅶ編 本支店会計	・支店開設にともなう基本的な記帳方法や、本支店間の取引、支店相互間の取引（本店集中計算制度）に関する記帳についての理解や、本店と支店の財務諸表の合併に関する手続きについて学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンス評価	○	◎	○
3 学期	第Ⅷ編 会計ソフトウェア	・取引の記録と財務諸表の作成について、会計ソフトウェアを活用することで効率的に行う方法を学習する。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
	発展編 その他の債権・債務	・電子記録債権・電子記録債務とクレジット売掛金の記帳について学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査	◎	○	○
	発展編 株式会社会計	・株式会社の設立・開業・剰余金の配当および処分、株式会社の税務など株式会社特有の記帳について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	◎	○	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	課題プリント、小テスト、ノート、定期考査、パフォーマンス評価
② 思考・判断・表現	課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンス評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	出席状況、行動の考察、課題プリント、ノート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商 業	科 目	情報処理	学年 学科 類型	1年 商業科 II型
単位数	3	教科書	最新情報処理 Advanced Computing (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定模擬問題集 3級、全商ビジネス文書実務検定試験問題集 2級、1級(東京法令出版)				

学習の目標	1 ビジネスにおける情報の意義を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身に付けます。 2 コンピュータやソフトウェアに関する基礎的な知識を習得し、機器の有効利用ができるようにします。 3 情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができるようにします。
学習の方法	・情報処理の基本的な知識や様々なアプリケーションソフトの操作方法をパソコンを活用して学びます。 ・検定資格の取得に必要な知識や上級資格の取得方法について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価		
			①	②	③
1 学期 中間	1章 企業活動と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムの例やビジネスにおける情報活用の実際を学びます。さらにコンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を学びます。</li> <li>行動の観察、発表、学習ノート、定期考査</li> </ul>	○	○	◎
		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルの基本的な考え方や態度について学び、情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性とその概要を学びます。さらに企業に適切な情報処理について学び、技術を身に付けます。</li> <li>授業中課題、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
1 学期 末	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本的な機能と構成、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能を学び、さらに活用する基本的な技術を身に付けます。</li> <li>行動の観察、学習ノート、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信ネットワークの基本を学び、ビジネス情報の正確な情報を検索・収集、活用方法を学びます。さらにコンピュータを保護するためのセキュリティ管理など情報化社会に対応できる能力と姿勢を養います。</li> <li>授業中課題、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
2 学期 中間	3章 情報の収集と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスの処理に必須となる表計算ソフトの操作方法を学びます。関数の活用方法やグラフの作り方を身に付けます。</li> <li>休業中課題、授業中課題、実習作品、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトを活用した情報の整列・検索・抽出の技法を学び、実用的な操作ができるようにします。</li> <li>実習作品、授業中課題、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
2 学期 末	3章 情報の収集と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの手法を習得していきます。</li> <li>実習作品、授業中課題、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
	4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書処理ソフトの基本的な操作方法から、図表やグラフの挿入やレイアウト編集の手法まで実習を通して習得します。</li> <li>タイピングスコア、実習作品、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
3 学期	4章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスで活用する様々な基本文書に関して書式や役割を学びます。さらに差し込み印刷やはがき宛名印刷等を学び、実用的な操作ができるようにします。</li> <li>休業中課題、タイピングスコア、授業中課題、定期考査</li> </ul>	○	◎	○
	5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションの意義と必要性について考え、アウトラインの作成や序論・本論・結論のプランニング等を学びます。</li> <li>パフォーマンス評価、授業中課題、定期考査</li> </ul>	◎	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得します。</li> <li>パフォーマンス評価、授業中課題、定期考査</li> </ul>	○	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法
① 知識・技能	実習作品、パフォーマンス評価、タイピングスコア
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表態度、定期考査、パフォーマンス評価
③ 主体的に学習に取り組む態度	行動の観察、発表、授業中課題、学習ノート

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。